

## 編集手帳



7年前の本誌本稿で医学部受験の偏差値について取り上げた。当時の話題は医学部人気に由来する医学部偏差値上昇で、駿台全国模試におけるA判定の基準が1990年と2014年で比較して国公立大学医学部は平均で4.9ポイント、私立大学医学部は平均で10.0ポイント上昇していることを紹介した(日本内科学会誌、2015;104:2490-7)。その後、医学部ブームはやや下火になったとされる。実際、2014年10月の駿台全国模試でA判定基準偏差値65未満の国公立大学医学部は23大学であったが、2024年10月のそれは28大学に増加している。しかし、偏差値が低下しているのは主に地方国公立大学であり、首都圏、京阪神の国公立大学医学部の偏差値には大きな変化はみられない。私立大学も同様で、今では都心部上位私立医学部の偏差値は地方旧帝国大学医学部偏差値に並ぶようになった。若者の東京志向は著しい。

国外からの転入を除いた国内移動の転入超過数でも、東京都は2024年に7万9,285人の超過となり、三大都市圏でみても東京圏(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県)だけが転入超過となっている。とくに15~29歳の若者世代でみると東京都は10万人以上の超過が続いており、若者の東京一極集中の傾向は顕著である。専攻医についても、2018年度の新専攻医の21.7%弱が東京都に集中しており、その原因として新専門医制度の施行があげられた。2024年度になって東京都の専攻医採用数は全国の18.9%とやや低下したが、神奈川県、埼玉県、千葉県が大幅に増加しているため、東京圏として考えると2018年が33.5%、2024年が34.2%と高値を維持している(2024年7月日本専門医機構資料)。シーリングもいわば短期的な派遣にすぎないため、長期的にみると東京圏集中は進む一方であろう。すでに地方の中核病院は経営難に加えて医師不足で困窮している。診療報酬に地域差を設けるなど、地方勤務に対するインセンティブを大幅に強化しない限り、地方の診療維持は不可能であろう。

神田善伸

臨床雑誌 内科 第136巻2号(第818冊) 2025年8月1日発行

監修: 杉本恒明 黒川 清 矢崎義雄 木村 哲 小俣政男 宮坂信之 永井良三  
編集委員会: 神田善伸(委員長) 立石知也 牧 尚孝 岡本 耕 辻本哲郎

編集兼発行者: 東京都文京区本郷三丁目42番6号 小立健太  
印刷所: 東京都江東区亀戸七丁目2番12号 三報社印刷株式会社  
装丁: 渡邊真介

発行所  
株式会社 南江堂

〒113-8410 東京都文京区本郷三丁目42番6号  
出版(「内科」編集室直通) Tel: 03-3811-9984 Fax: 03-3811-8660  
営業(販売1課/卸) Tel: 03-3811-7239 Fax: 03-3811-7230  
<https://www.nankodo.co.jp/>

本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権(送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物の利用に関する原著作者の権利は、株式会社南江堂が保有します。

**JCOPY** (出版者著作権管理機構 委託出版物)

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(Tel: 03-5244-5088, Fax: 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

図書館等のご利用にかかる指針は弊社ホームページ(弊社著作物の利用について <https://www.nankodo.co.jp/pages/crp.aspx>)からご確認ください。

広告申込所 〒113-0033 東京都文京区本郷5-24-6 本郷大原ビル6階 株式会社文京メディカル(Tel: 03-3817-8036)